

# 第3期北郷里地区地域福祉活動計画

## 福祉（しあわせ）のまちづくり 北郷里

2024年  2028年



北郷里小学校 100 周年お祝いの歌（1976 年）に「あおぐ伊吹の山のように強く明るくよい子にと」「姉川流れる水のように清く正しくよい子にと」歌われています。少子高齢社会のなかで、福祉はややもすると高齢者が中心のような社会になってはいないでしょうか。

この計画のなかにもありますが、みんなが協力して、子どもから高齢者まで誰もが住みよい北郷里をみんなで作っていきましょう。

北郷里連合地域づくり協議会  
(北郷里地区社会福祉協議会)



# 1. 北郷里地区地域福祉活動計画について

## ● 「北郷里地区地域福祉活動計画」とは

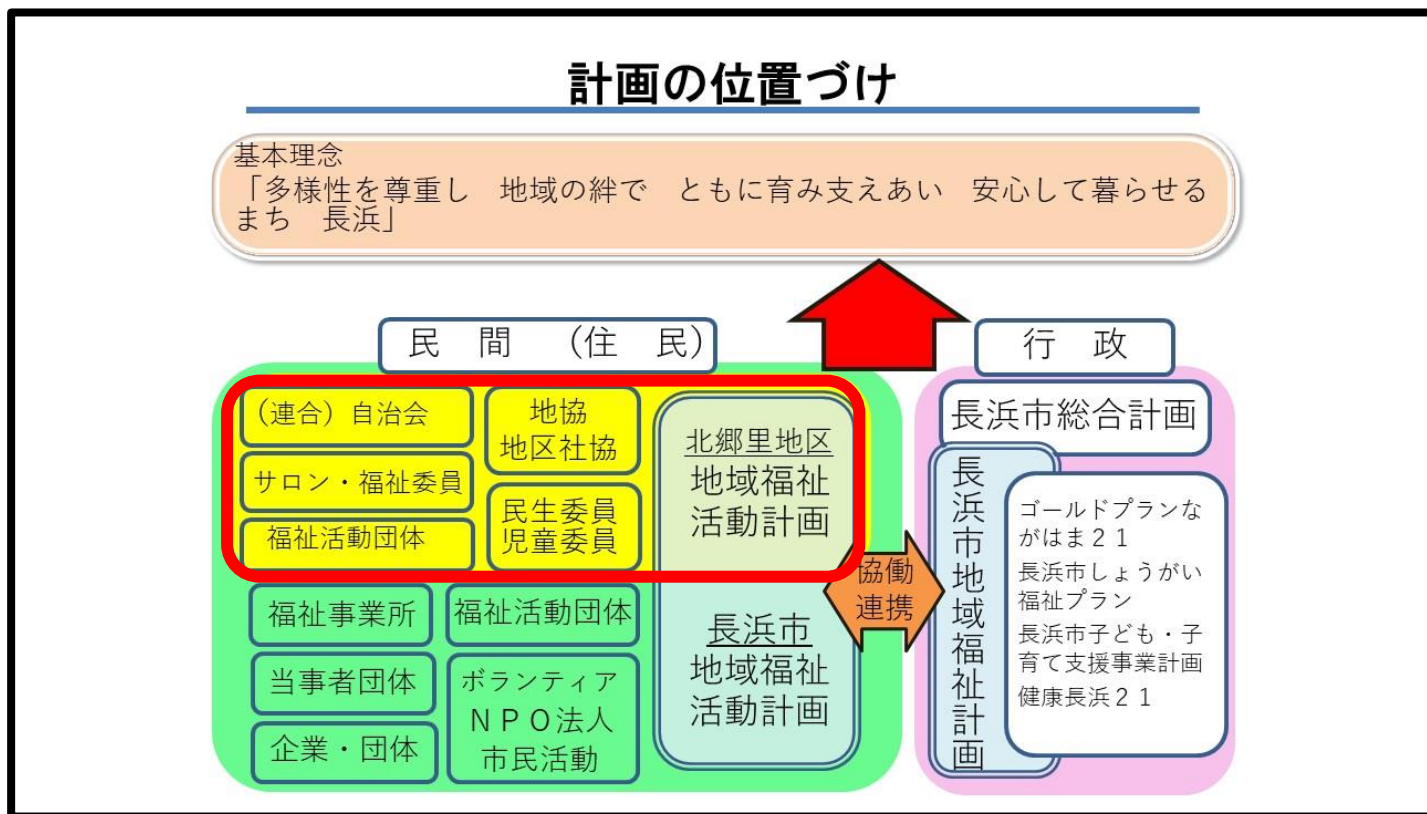
北郷里地区地域福祉活動計画は、福祉（しあわせ）について住民一人ひとりが身近な助け合いや支え合いの必要性を理解し、自らが主役となって地域課題解決のために行動するうえで大切な指針です。長浜市社会福祉協議会が策定する「長浜市地域福祉活動計画」と一体的に策定することで、市域、地区域のエリアによる活動メリットを最大限に活かすことができます。また、長浜市が策定する行政の地域福祉に対する施策計画である「長浜市地域福祉計画」と連携・協働し、公民協働による地域福祉を推進していきます。

日本全体として少子高齢化が深刻な問題となるなか、北郷里地区もまた例外ではありません。近隣住民との関係の希薄化、高齢者世帯の孤立や、各種催し物のコロナ便乗中止など、住民の「つながり」や「支えあい」の意識も薄くなってきたように思います。

このままの状況を続けていってよいのでしょうか？

この計画は、北郷里地区の「住民参加」による活動・実践と関係機関・団体との「協働」を図りながら、福祉課題の解決を目指し、「住民主体による福祉のまちづくり」を進める計画です。

住民のみなさん一人ひとりが協力しあい、子どもから高齢者まで、誰もが住みよい北郷里、誇れる北郷里をみなさんの手で作っていきましょう！



● 計画期間は、2024～2028年度の5か年計画です。

## 2. 第2期北郷里地区地域福祉活動計画をすすめて

第2期計画を策定し、地域福祉を推進してきたなかで、取り組みの成果や地域の新たな課題などが見えてきました。

### 成果

年度ごとに開催される懇談会（理事会）やアンケートの意見より抜粋

住民が交流する場がさかんに開催されている（よっといで、サロン活動、転倒予防教室など）。

様々な世代が交流する機会がある（三世代交流事業）。

子育て世代が意見交換する場がある（すくすく広場）。

地域で見守り支え合う活動がある。

「やってみよう！」をカタチにする住民力がある。

### 課題

年度ごとに開催される懇談会（理事会）やアンケートでの意見より抜粋

北郷里地区や自治会のリーダーや活動者が限定されている（新たな担い手を見つけることが重要！）。

地域活動のコロナ便乗中止が増えつつある。

車の運転ができないと、日常の買い物に困る。

退職者世代が活躍できる場が少ない。

隣近所や自治会内での関係が希薄になっている。

### 求めること

年度ごとに開催される懇談会（理事会）やアンケートの意見より抜粋

参加者だけではなく運営側もやりがいを感じられる魅力的な地域福祉活動の創出。

自治会の福祉の仕組みづくり（福祉委員の整備など）。

子どもや高齢者などの見守り福祉活動のさらなる充実。

住民同士で支え合う仕組みづくりの拡充（様々な居場所づくり支援）。

新たな活動の担い手の発掘と育成。

### 3. 北郷里地区の現状について

●人口や高齢化率などは、以下の通りです。

人口：3,880人

～14歳	357人	(年少率：9.2%)
15～64歳	2,258人	
65歳～	1,265人	(高齢化率：32.6%)
世帯数	1,247世帯	

## 面積

長浜市全体の約 1.96%

## 学校など

さくらんぼ保育園 84名  
北郷里幼稚園 11名  
北郷里小学校 153名  
長浜東中学校 203名  
子ども食堂「こどもの居場所まんま」  
放課後児童クラブ

サロン活動

10サロン

転倒予防教室

5教室

# 福祉（しあわせ）のまちづくり 北郷里

## 基本目標①

### 住民みんながつながる北郷里

#### ●現状

少子高齢化がますます進む昨今、北郷里地区もまた、例外ではありません。

以前のように、ふらっと近所に立ち寄りおしゃべりする、道行く人と気楽に対話する...、といった光景は珍しくなってきました。そんななか、「気軽に集まる場所が欲しい」「歳をとっても健康でイキイキと暮らせる地域にしたい」「様々な世代と関わる、触れ合うことの大切さ」との意見が実施団体とのヒヤリングで多く聞かれました。

いつまでも健康で、はつらつと暮らせる地域を目指し、以下の取組みを推進します。

#### ●今後の取組み

##### ◆ 子どもからお年寄りまでつながりふれあえる地域づくり

⇒子育て広場の開催により、子育て世代の交流やつながりづくりを促進するとともに、ボランティアとして地域住民が関わることで様々な世代が交流する機会を作ります。また、魚つかみ大会や餅つき大会といった3世代交流事業の開催をとおして、子どもから高齢者までがふれあうあたたかい地域をつくります。

- ・ 子育て支援事業「すくすく広場」
- ・ 3世代交流事業



##### ◆ みんながほっと、気軽に集える居場所づくり

⇒サロンや体操教室など、各自治会で熱心に取り組まれている居場所づくりを支援します。

- ・ 各町サロン、転倒予防教室の支援
- ・ しあわせ情報提供所「よっといで」
- ・ ラジオ体操
- ・ 北郷里体操クラブたんぽぽ会
- ・ 地区民対象の健康づくり講演会
- ・ 立ち寄り健康コーナーの設置





## 基本目標②

# 住民みんなが支えあう北郷里

## ●現状

多発する大きな災害による被害の状態を目の当たりにし、地域の住民同士のつながりや絆づくりの大切さを、改めて感じる事が多くなった近年。特に、ご高齢の方や身体が不自由な方の避難支援や安全の確保のためには、身近な人が声を掛けあい、協力して行動する「支え合いの体制づくり」が大変重要です。これからは、北郷里地区で実施されている命のバトンや「情報提供所よっといで」など相談支援機能のさらなる充実が求められます。

## ●今後の取組み

### ◆ みんなで見守り・助け合える地域づくり

⇒子どもや高齢者、しょうがいを抱える方々への近隣住民による見守り活動をとおして、災害時だけでなく、常日ごろ誰もが安心して暮らせる地域、住民同士がつながり合える地域をつくります。

- ・ 命のバトン事業 ・ 各町サロン活動
- ・ 子どもや高齢者の見守り活動



### ◆ 誰でも「困っている」「助けて」を言える地域づくり

⇒身近な暮らしの困りごとを、住民相互で相談し合える場「情報提供所よっといで」を定期的で開催します。  
また、専門機関（地域包括支援センター、各相談窓口など）と連携し、出てきた相談事に対し、包括的に対応する体制を作ります。

- ・ 情報提供所「よっといで」の開催継続、連携体制の強化



しあわせ情報提供所「よっといで」とは

### ●内 容

- ・ 毎月1回、健康体操、ゲームやお茶会を実施します
- ・ 保健や福祉施策の情報を、なんでも、わかりやすく提供します
- ・ きめ細やかに情報を提供し、場合によっては専門機関と連携し、問題解決を支援します

### ●場 所

北郷里まちづくりセンター

### ●当面の活動

専門機関の出前講座を活用した情報の提供

## 北郷里の福祉活動を支える活動

### ●現状

第1期北郷里活動計画策定以降、定期的に福祉懇談会を開催し、地域の様々な活動団体を交えて“北郷里のふくし”について話し合い、北郷里地区社会福祉協議会の活動基盤の強化を図ってきました。しかし、地域福祉活動の新たな担い手の発掘や専門機関とのさらなる連携など、取り組むべき課題も見えてきました。地域福祉活動を支える活動の充実を図るため、以下の項目に取り組みます。

### ●今後の取組み

#### ◆ 専門家の知恵を活かした、福祉（しあわせ）活動支援

⇒北郷里地区社会福祉協議会の活動基盤を強化し、今後の活動のさらなる充実を図ります。また、住民みんなで支え合う地域づくりを目指し、地域包括支援センターや長浜市健康推進課などの各専門機関とのネットワークを築きます。

- ・ 北郷里フェスティバル  
（地域包括支援センター、長浜市健康推進課などとの連携）
- ・ 健康福祉講演会の開催
- ・ 新たな活動の担い手の発掘と育成
- ・ 活動の周知広報活動（若者や子どもの関心を高める）
- ・ 送迎用の車の提供



## 5. これからの活動について

- 計画を遂行するために、次のような話し合いの場を設けます。

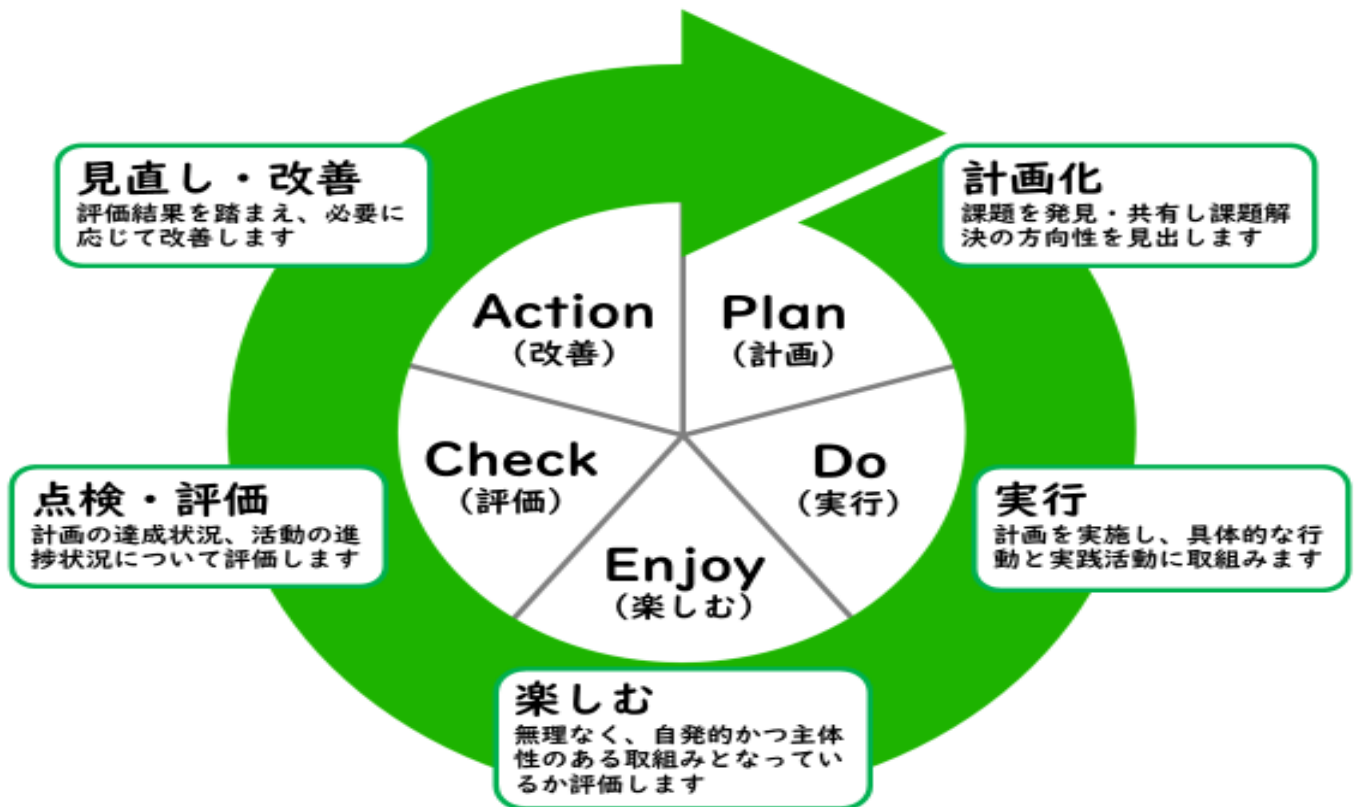
理事会

- ◆計画の進捗確認・管理を行う。

福祉懇談会

- ◆自治会・民生委員・福祉委員、各種福祉活動団体等が情報の交換、交流し、連携をはかる場
- ◆住民が北郷里地区の“ふくし”について考える機会をつくる場

- 計画の振り返りを、以下の流れで行います（PDECAサイクル）。



### 策定委員からのメッセージ

1年間にわたる関係者の皆様のご協議により、ここに第3期北郷里地区地域福祉活動計画を策定することができました。この事業を推し進めるにあたり、北郷里連合地域づくり協議会健康福祉専門部会の方々、長浜市社会福祉協議会職員の皆様をはじめ、多くの方にご協力いただきました。

協議や研修会等を重ねる中で、これまでの活動成果や新たな地域の状況も確認することが出来、これを踏まえたとこれからの北郷里を創る道しるべとして、社会福祉協議会だけではなく、地域づくり協議会、連合自治会等でも、共有していきたいと思えます。今後、益々この計画に基づいた活動により、「つながり」と「支え合い」のある、「しあわせ」あふれる新しい時代をつくっていただけることを願っています。